

証券コード：6567
2021年10月14日

2022年5月期 第1四半期 決算補足説明資料



株式会社 SERIO ホールディングス
代表取締役社長 若瀨 久

家族を笑顔に!
serio

1. **会社概要**
 2. **2022年5月期 第1四半期業績概況**
 3. **セグメント別 業績概況**
 4. **2022年5月期 通期業績見通し**
 5. **株主還元**
 6. **事業環境**
 7. **中期経営計画2022~2024**
 8. **非財務面の取組み**
- 参考資料**



Vision

「家族の笑顔があふれる幸せ創造カンパニー」

Mission



仕事と家庭の両立応援



未来を担う子どもたちの成長応援

就労と育児の両面から女性の活躍を支援

働く『機会』の創出

パートタイマー型派遣で
ライフステージに合わせた働く「場」を提供

就労支援事業
(派遣・請負・紹介)

働く『環境』の創出

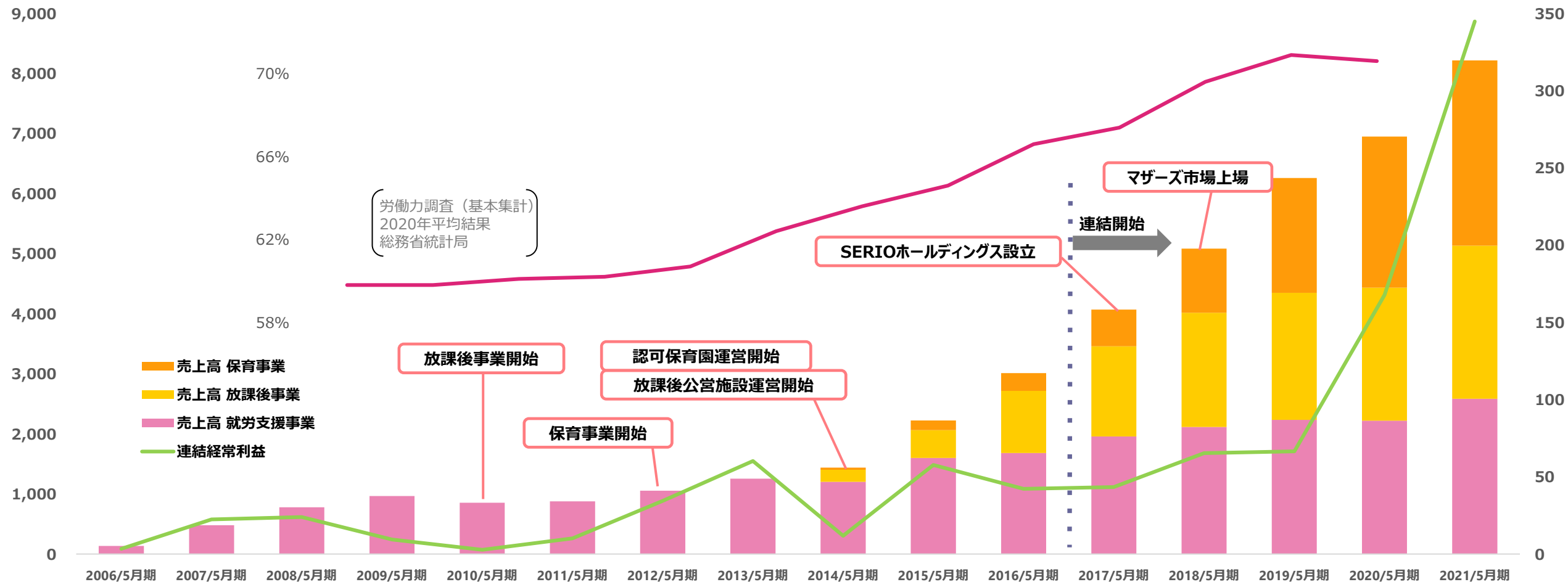
子どもたちの安心・安全な
居場所を提供
働く「時間」を創出

保育事業
(保育園運営)

放課後事業
(学童クラブ運営)

(売上高：百万)

(経常利益：百万)



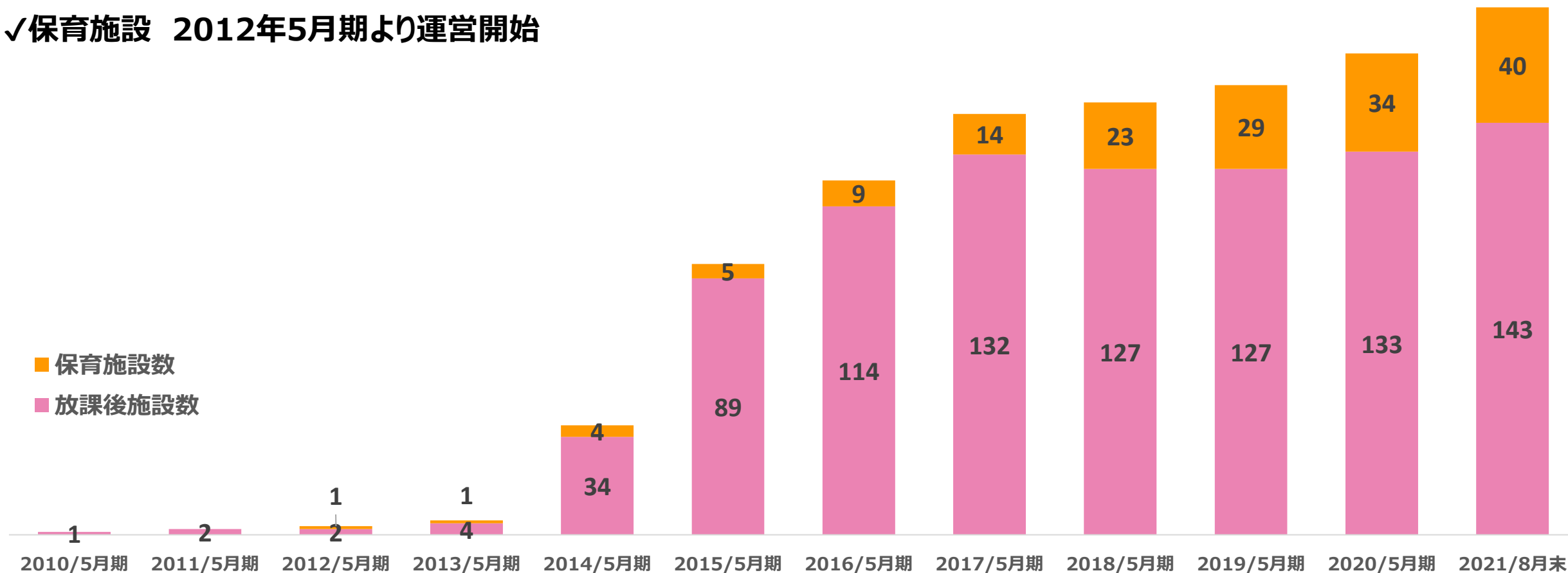
保育施設運営数			1	1	4	5	9	14	23	29	34	40
放課後施設運営数	1	2	2	4	34	89	114	132	127	127	133	143

→セグメントごと売上高…2014/5月期以降（2010/5月期～2013/5月期は合算） →2016年1月監査法人契約開始

✓2021年8月末現在、放課後143施設、保育40施設 計183施設運営（前年比+16）

✓放課後施設 2010年5月期より運営開始

✓保育施設 2012年5月期より運営開始



・1Qは対前年で増収減益

放課後・保育事業において新設が寄与し増収。前年のコロナ禍から施設運営が正常化に向かい、労務費が増加し原価率が上昇。新規事業の保育士人材紹介による先行費用負担もあり減益となった。

売上高 2,320百万円 (前年同期比+12.1%)

売上総利益 410百万円 (前年同期比△4.0%)

営業利益 74百万円 (前年同期比△46.5%)

経常利益 74百万円 (前年同期比△48.0%)

(百万円)

	2022/計画	2022/1Q 実績	構成比	前年同期比 増減率	通期計画 進捗率	2021/1Q		2020/1Q	
						実績	構成比	実績	構成比
売上高	9,000	2,320	100.0%	+12.1%	25.8%	2,070	100.0%	1,785	100.0%
就労支援事業	2,729	703	30.3%	-1.0%	25.8%	710	34.3%	616	34.5%
放課後事業	2,848	748	32.3%	+19.5%	26.3%	626	30.3%	600	33.6%
保育事業	3,423	868	37.4%	+18.5%	25.4%	733	35.4%	568	31.8%
売上原価	7,258	1,909	82.3%	+16.3%	26.3%	1,641	79.3%	1,489	83.4%
売上総利益	1,742	410	17.7%	-4.0%	23.6%	428	20.7%	296	16.6%
販売費及び 一般管理費	1,467	336	14.5%	+16.6%	22.9%	288	13.9%	279	15.7%
営業利益	275	74	3.2%	-46.5%	27.2%	139	6.8%	16	0.9%
経常利益	270	74	3.2%	-48.0%	27.6%	143	6.9%	15	0.9%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	175	46	2.0%	-49.6%	26.3%	91	4.4%	7	0.4%

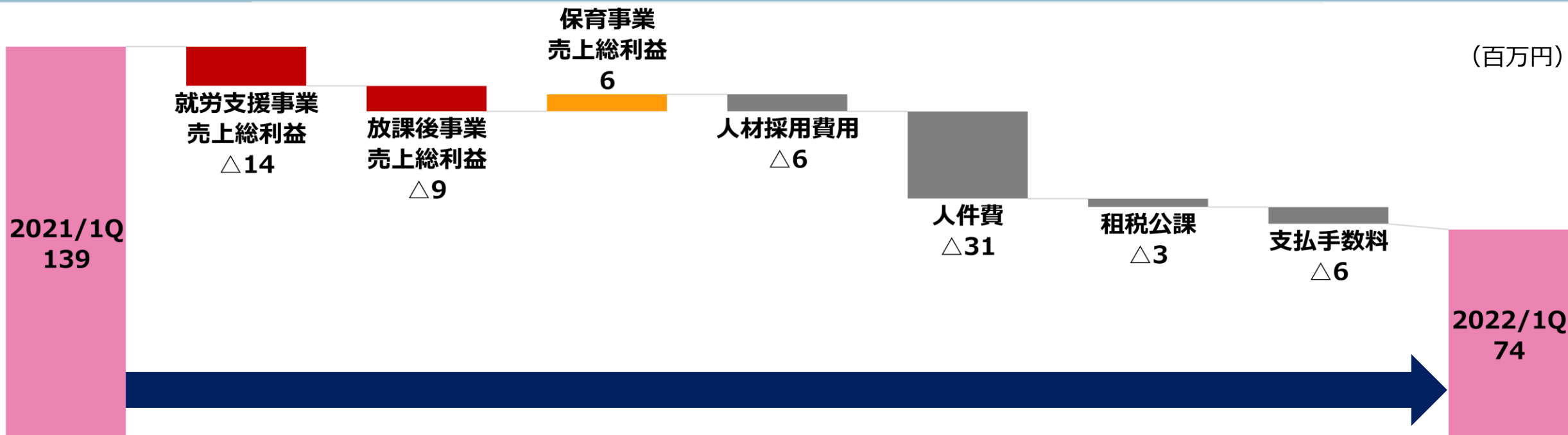
2021/1Q及び2020/1Q…新型コロナウイルス感染症拡大防止による小学校休校に伴う休業者対応助成金・雇用調整助成金等の営業外収益あり ※休業者には全額補償実施

(百万円)

	2021/5月末		2021/8月末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	2,579	57.4%	2,492	56.9%	+87
現金及び預金	1,897	42.2%	1,680	38.3%	-216
固定資産	1,916	42.6%	1,891	43.1%	-24
有形固定資産	1,325	29.5%	1,318	30.1%	-6
資産合計	4,495	100.0%	4,383	100.0%	-112
流動負債	1,347	30.0%	1,280	29.2%	-66
短期借入金	-	-	-	-	-
固定負債	1,216	27.1%	1,192	27.2%	-23
長期借入金	880	19.6%	859	19.6%	-20
負債合計	2,563	57.0%	2,473	56.4%	-90
純資産合計	1,931	43.0%	1,910	43.6%	-21
負債純資産合計	4,495	100.0%	4,383	100.0%	-112

営業利益増減内訳（前年同Q比較）

（百万円）



セグメント	前年比	売上総利益
就労支援	Δ14	減収影響及び天候不順によるコールセンター業務委託の生産性低下による減益
放課後	Δ9	施設数増加により売上は増加したが、前年のコロナ禍から施設運営が正常化に向かい、労務費が増加し減益。新収益認識基準により売上高▲18百万マイナス影響（詳細次頁）
保育	+6	施設数及び既存園での園児数の増加による売上増により増益。前年のコロナ禍から施設運営が正常化に向かい労務費増

科目	前年比	販売管理費
人材採用費用	Δ6	就労支援事業の保育士人材紹介開始影響及び保育事業の採用費増。コロナ前の2020/1Qと同水準であり、採用費用の効率化は進む。
人件費	Δ31	20/5期末→21/5期末の正社員数13.7%増
支払手数料	Δ6	企業年金基金加入手数料（非正規雇用者にも導入）、人事管理システム他

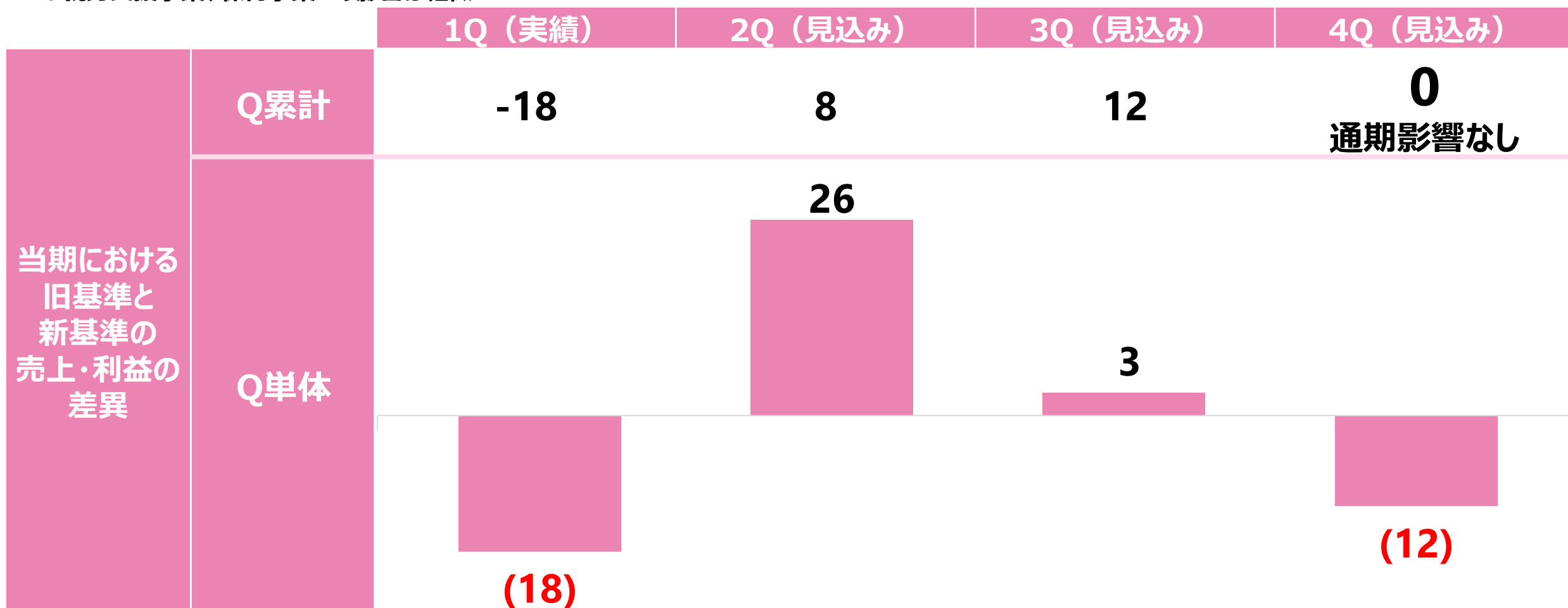
✓放課後事業において、2022年5月期より売上計上の変更（旧：原価計上実績ベースでの売上計上→新：自治体への請求ベースでの売上計上）により、売上・利益ともにQ進捗に影響あり。期首見込みに対し自治体の過年度調整分及び支援が必要な児童が増加したため、1Q実績は計画を超過

✓最新の2Q以降見込みは下記の通り

✓通期での影響はないが、Q単位での影響はグラフのとおりと見込む

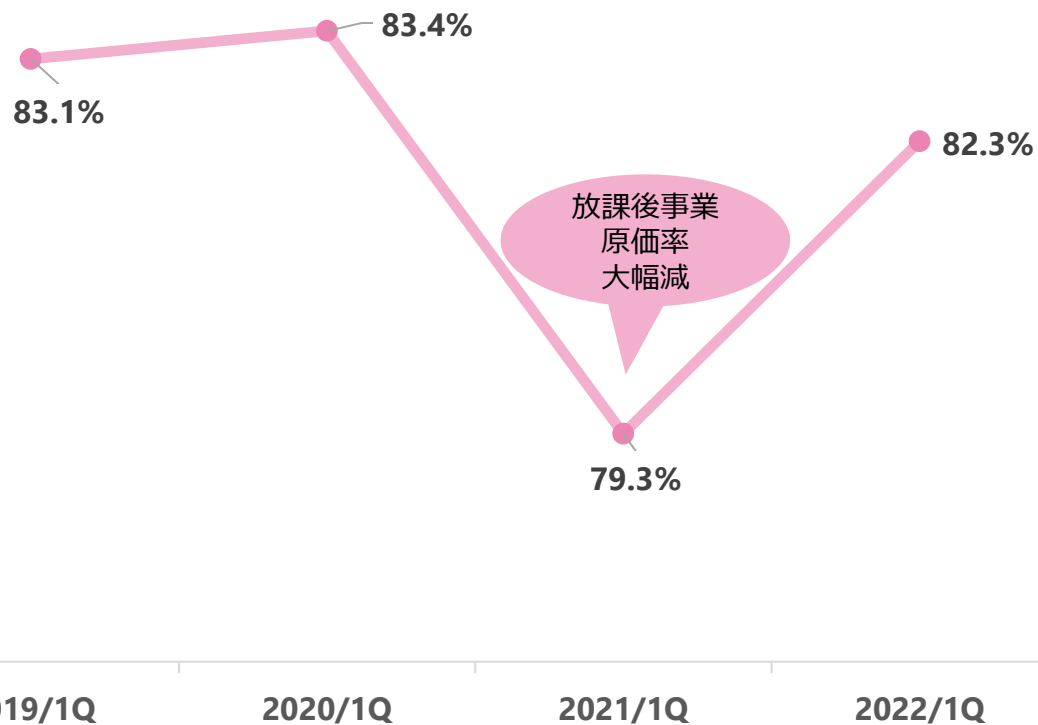
✓就労支援事業、保育事業への影響は軽微

(百万円)

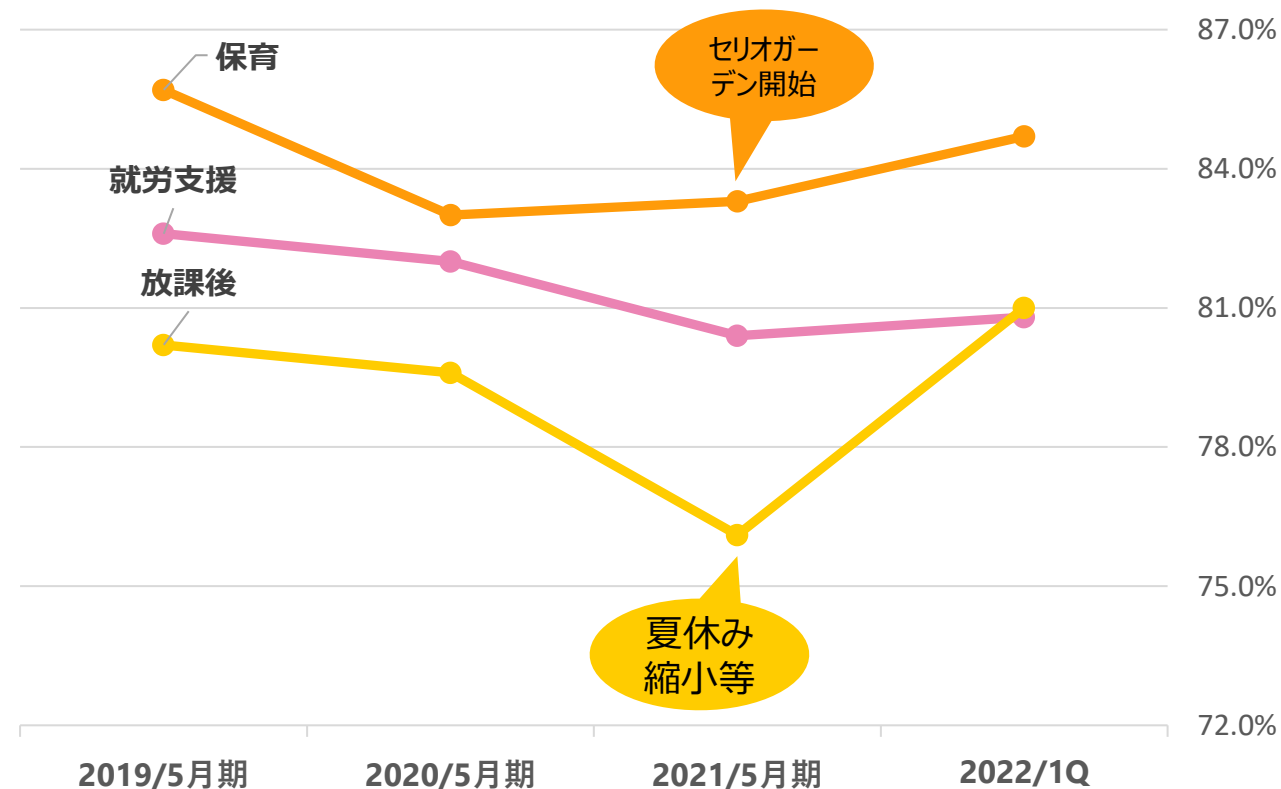


- ✓各事業運営が正常化し前期比から原価率は上昇しているものの、コロナ以前の1Q水準より低減
- ✓セグメント別：2022年1Qは保育事業において年度途中での園児数増に向け、職員の配置を増強しているため原価率が上昇

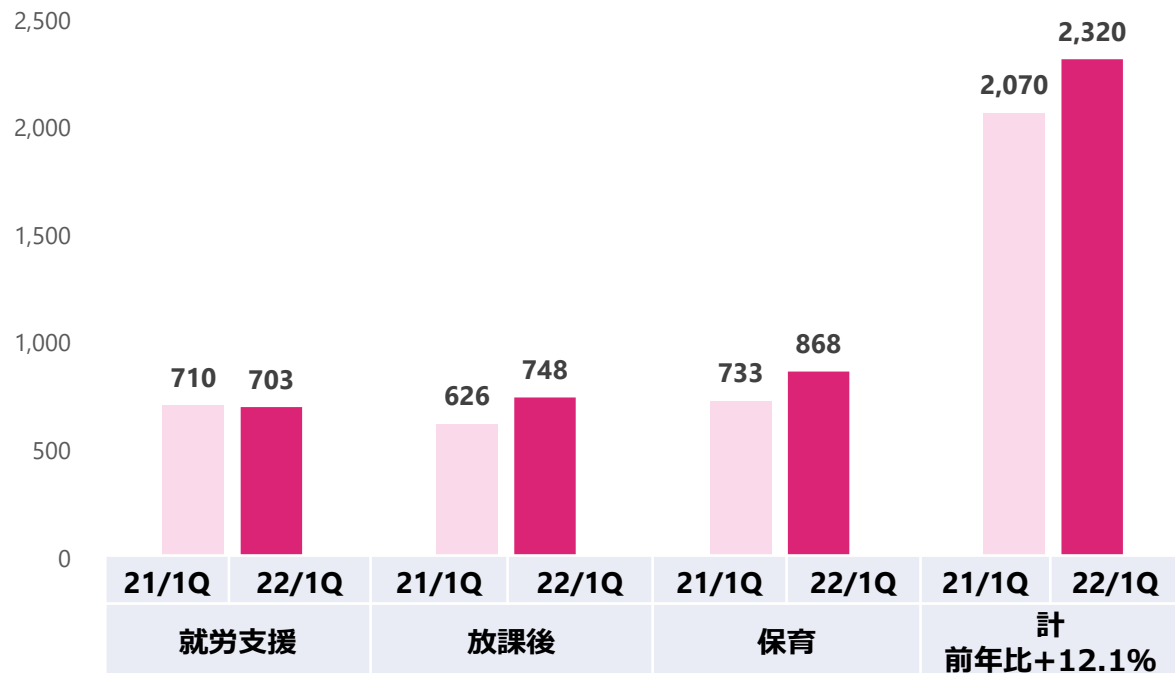
＜原価率 推移＞



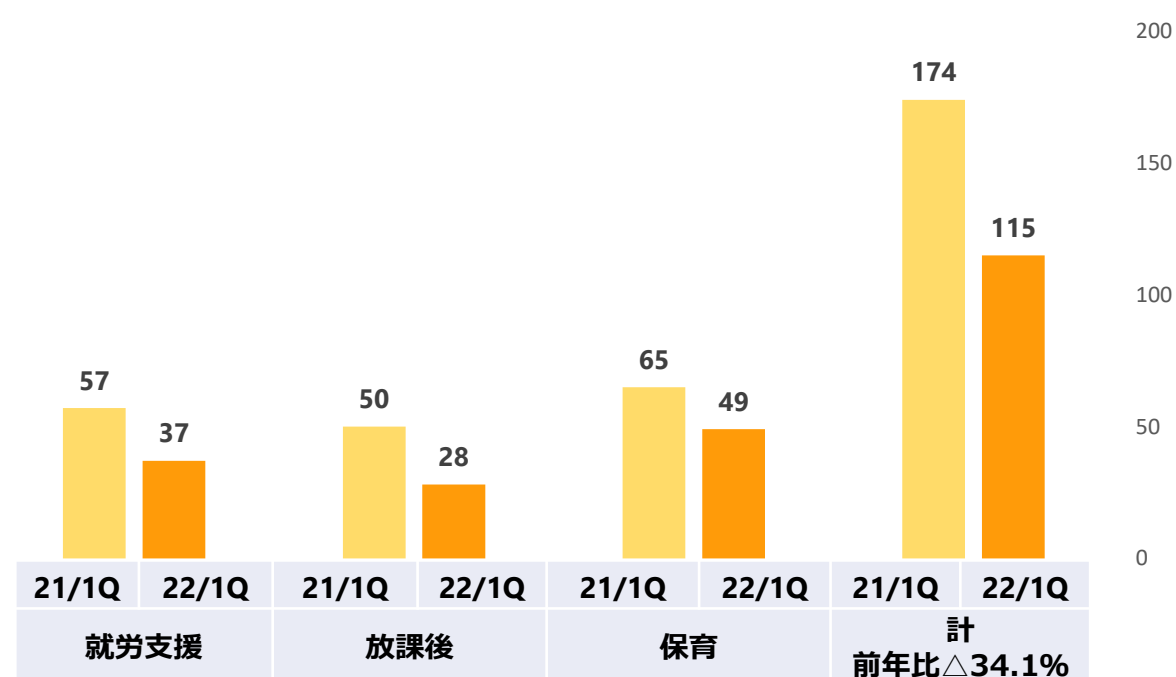
＜セグメント別 原価率 推移＞



＜売上高 前年比較＞ (百万円)



＜営業利益 前年比較＞ (百万円)



セグメント	売上高	営業利益
就労支援	↓ コロナ影響による大手既存顧客の事業規模縮小および長雨等の気候影響による大手家電メーカーの修理受付業務の需要が低下し減収	↓ 減収に加え、保育士人材紹介における先行費用により減益
放課後	↑ 新規13施設開設、2021年3月末契約満了3、純増10施設により増収	↓ 施設数増加により売上は増加したが、前年のコロナ禍から施設運営が正常化に向かい、労務費が増加し減益
保育	↑ 新設園の利用園児数の増加、既存園の年間を通したきめ細かい園児数増加策により増収	↓ 前年のコロナ禍から施設運営が正常化に向かい、労務費が増加。積極的な年度途中の園児受入れの体制づくりのため人材採用費用3百万増により減益

✓就労支援：コロナ影響による大手既存顧客の事業規模縮小により売上高減少

✓放課後・保育：施設運営の正常化に伴い、労務費増加

✓保育：2021年4月新規入園においてコロナ禍での復職を見送り育休延長の動き、0～1歳児入園が鈍化。年度途中の積極的な園児受入れに備え、余裕を持った職員配置のための採用を行う。保育の採用費はコロナ前の2020/1Qより約4割減少し効率化が進む

	2022年5月期		2021年5月期	
	影響・リスク想定	1Q前年比	業績影響	影響額
全社共通	ワクチン接種の進行を鑑み現時点では見込まず	—	<ul style="list-style-type: none"> ・交通費、出張費などの費用減少 ・東京オフィス統合、フリーアドレス化 	通期_東京オフィス賃料削減▲8百万
就労支援事業		コロナ影響による大手既存顧客の事業規模縮小 売上高前年比▲10百万	<ul style="list-style-type: none"> ・売上減は派遣先企業によって1Q～通期に影響が及んだ ・WEB登録率上昇（WEB登録率94%）による採用費減 ・コロナ禍でのニーズが高い事業・企業の新規獲得、既存領域拡大 	既存取引の拡大及び新規取引が期首想定を大きく上回った
放課後事業		※新設10施設増加影響含む 労務費前年比+28% 採用費前年比+6%	開設時間減少による売上減。例年実施の夏休み短期スタッフ採用を見送り。既存人員で対応→労務費・採用費減	通期 売上影響額▲40百万 労務費影響額▲82百万
保育事業		※新設6施設増加影響含む 労務費前年比+19% 採用費前年比+207%	6月小学校休校継続により、きょうだい児の家庭保育協力要請実施	通期での影響は軽微

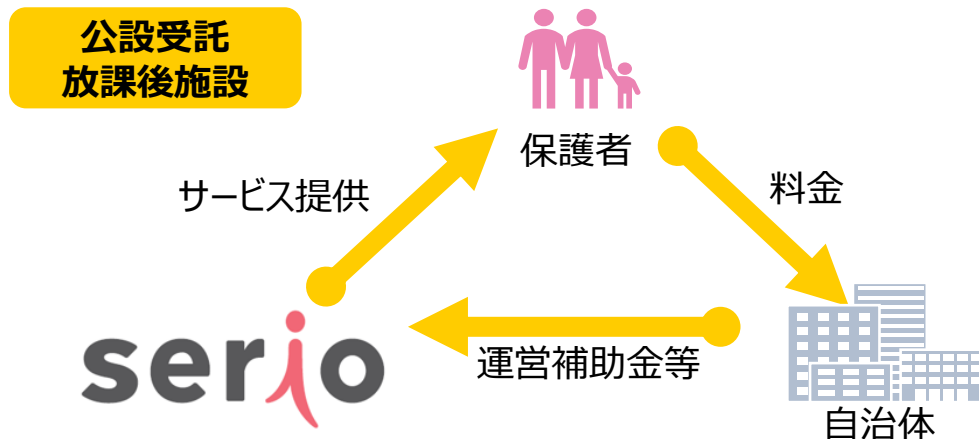
- ✓前年の夏休み（2020年7～8月）は開設時間縮小により労務費が減少→2021年7～8月は通常通りの運営に加えデルタ株の流行による夏休み延長措置の自治体では終日開設日が増加し、労務費が増加
- ✓利用者、従業員、取引先企業等の安全を第一に、感染防止マニュアルに基づき運営を継続

	事業構造	小学校夏休み期間の施設稼働
放課後事業	年度ごとに自治体からの運営委託契約	2020年7～8月：小学校休校に伴う長期休暇の開設時間縮小 2021年7～8月：通常通りの運営に加え、8月デルタ株の流行により夏休み延長による終日開設日の増加

大阪府泉佐野市の学童保育施設のケース（自治体により異なる）

■ 授業後開設 ■ 終日開設 ■ 終日休室

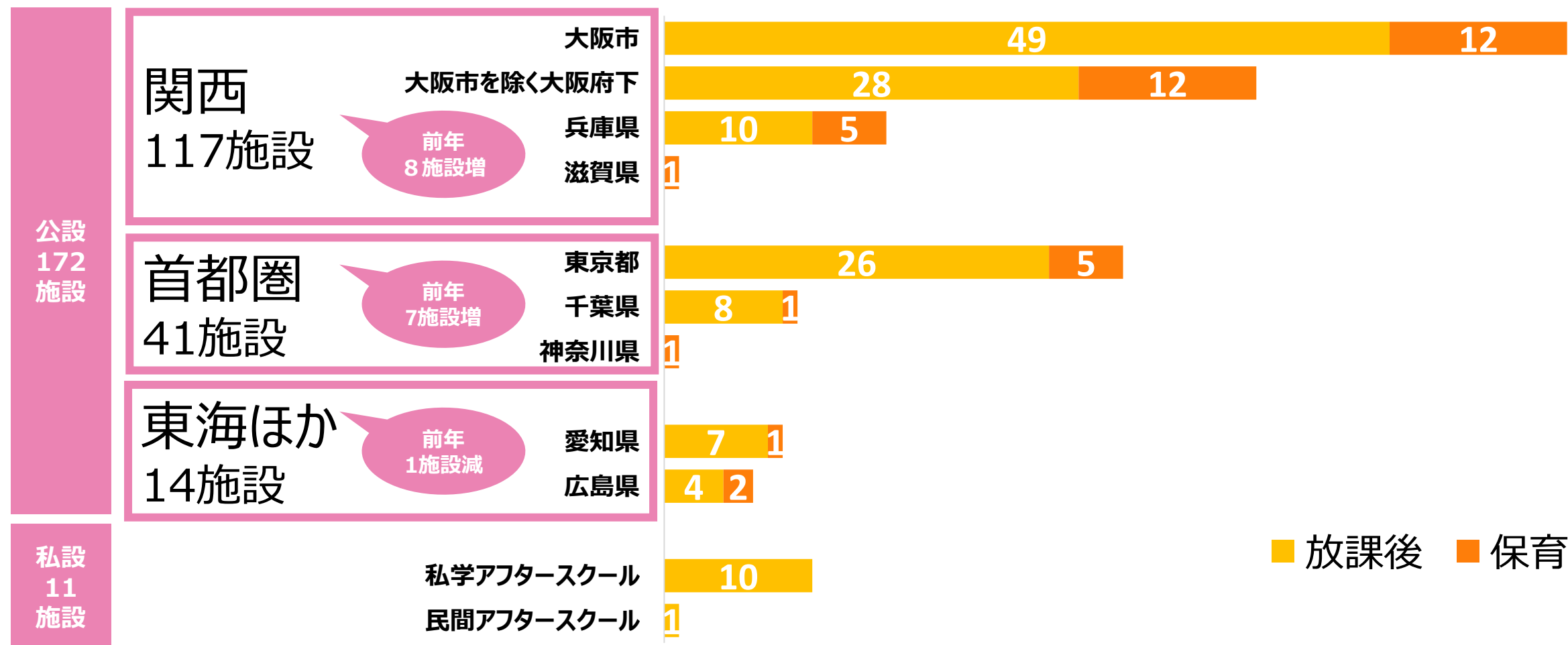
	2020年7月							2020年8月						
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
2020年 終日開設日数 11日				1	2	3	4							1
	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
	26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29
								30	31					
	2021年7月							2021年8月						
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
2021年 終日開設日数 29日					1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
	4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
	11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
	18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
	25	26	27	28	29	30	31	29	30	31				



当社運営施設の内訳（2021年8月末現在 計183施設※うち公設は以下枠囲み172施設）

✓ビジネスモデル上、4Q（4月）に新規開設が集中する

✓関西、首都圏を中心に事業を展開。参入障壁が高い自治体向けビジネスにおいて、競争力となる豊富な運営実績を有する



✓2021年8月末現在実績 ビジネスモデル上、1Qに実績が集中する。2022年5月期売上計画は既に達成

✓施工顧客のメンテナンスはストック型のため安定収益を見込む

施工・管理 施設数 16施設



・芝生導入
・メンテナンス
料金



保育園 + 幼稚園
4万施設以上
選ばれる施設づくり

項目	効果
ヒートアイランド緩和	熱中症の防止対策 暑さ指数（WBGT）における校園庭の芝生部分と遊具の屋根の温度差：約13℃※
防塵	芝生化による地表面からの土埃や砂埃の飛散を防止
生物多様性	緑化による鳥や昆虫などの生物の増加
環境学習	子どもたちへの自然環境の提供 → 幼少期に園庭を介して自然に親しむことで、自然と共存する社会、持続可能な社会を意識できる子どもの育成をサポート
教育環境向上	園庭の芝生化による擦り傷などの怪我の減少 → 外遊びの機会が増加し、体力や運動能力の向上に寄与

※出典：暑さ指数調査「兵庫県県民まちなみ緑化事業（第3期）評価・検証報告書」

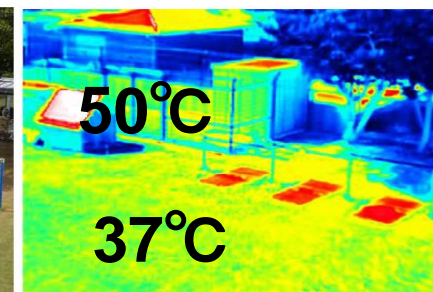
測定結果 表面温度の差 約13℃

・非緑化箇所(遊具屋根)：約50℃ ・緑化箇所(芝生園庭)：約37℃

○実施箇所 幼稚園園庭 ○所在地 神戸市北区

○測定日時 令和元年9月9日11:00～

暑さ指数（湿球黒球温度：WBGT（Wet Bulb Globe Temperature））



✓増収減益を見込む（2021/7/14公表時点より変更なし）

✓新型コロナウイルス影響は全事業ともに軽微と想定

✓主たる減益要因…2021年5月期は新型コロナウイルス影響に伴い放課後事業の労務費減少により大幅増益（2020年5月期比）

となったが2022年5月期は従来通りの事業環境を想定

✓持続的な成長を見据え、新規事業、人材投資、ICT投資などは継続する

（百万円）

	2022/5期計画	構成比	前年増減率	2021/5期実績	(参考) 2020/5期実績
売上高	9,000	100.0%	+9.5%	8,218	6,948
売上原価	7,258	80.6%	+10.2%	6,587	5,668
売上総利益	1,742	19.4%	+6.8%	1,631	1,279
販売費及び一般管理費	1,467	16.3%	+13.4%	1,293	1,143
営業利益	275	3.1%	△18.5%	337	136
経常利益	270	3.0%	△21.7%	344	167
親会社株主に帰属する当期純利益	175	2.0%	△21.5%	223	101

- ✓全セグメント増収を見込む（2021/7/14公表時点より変更なし）
- ✓放課後事業は2021/5期の10施設増が売上に寄与する見込み
- ✓保育事業は2021/5期の6施設増、既存園の園児数増加が売上に寄与する見込み

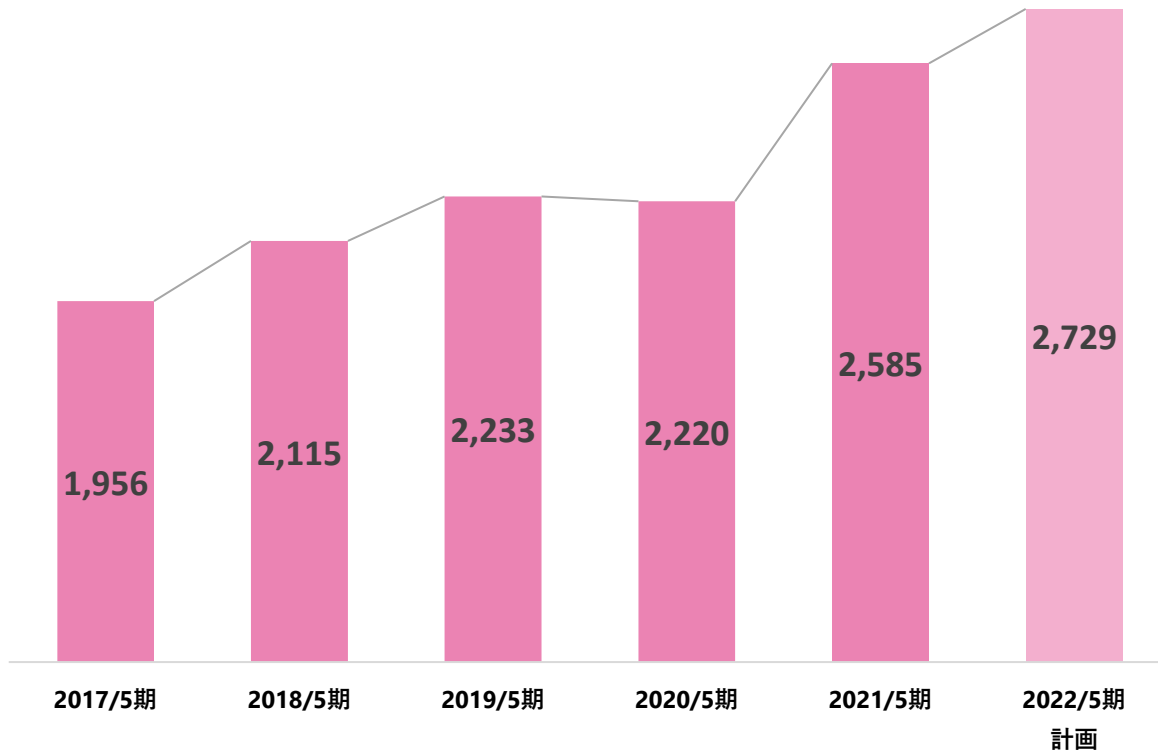
(百万円)

	2022/5期計画	2021/5期実績	増減率
就労支援事業	2,729	2,585	+5.5%
放課後事業	2,848	2,547	+11.8%
保育事業	3,423	3,085	+10.9%
合計	9,000	8,218	+9.5%

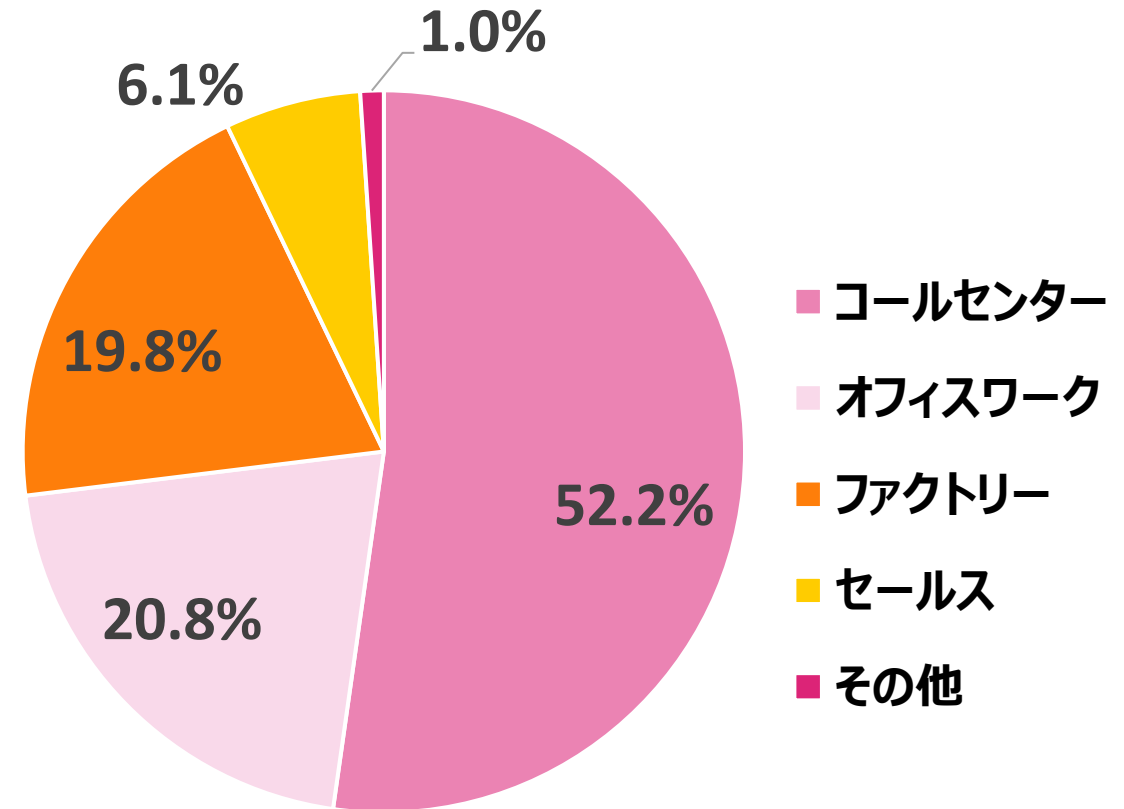
就労支援事業 売上計画と業種内訳

- ✓2022年5月期 過去最高売上を計画
- ✓パートタイム就労と相性の良いコールセンター業務が過半数を占める
- ✓コールセンター業務は大手家電メーカー修理受付等

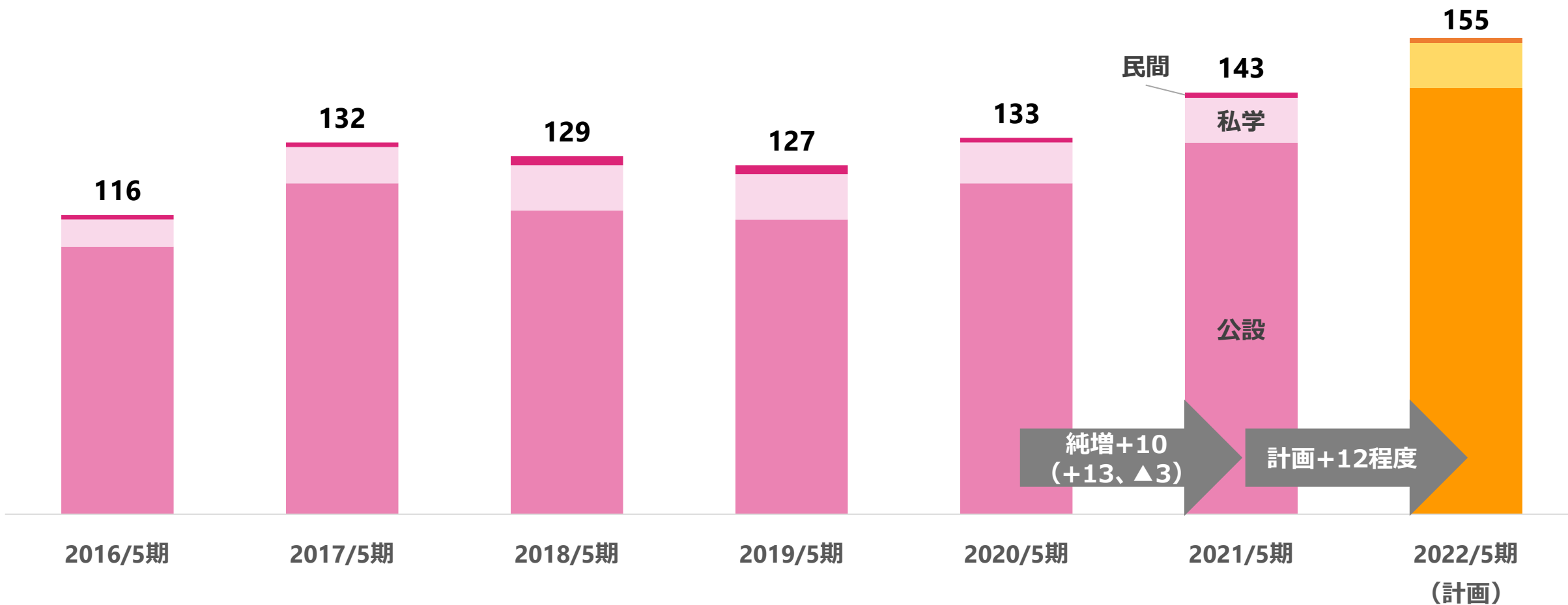
<売上高推移（百万円）>



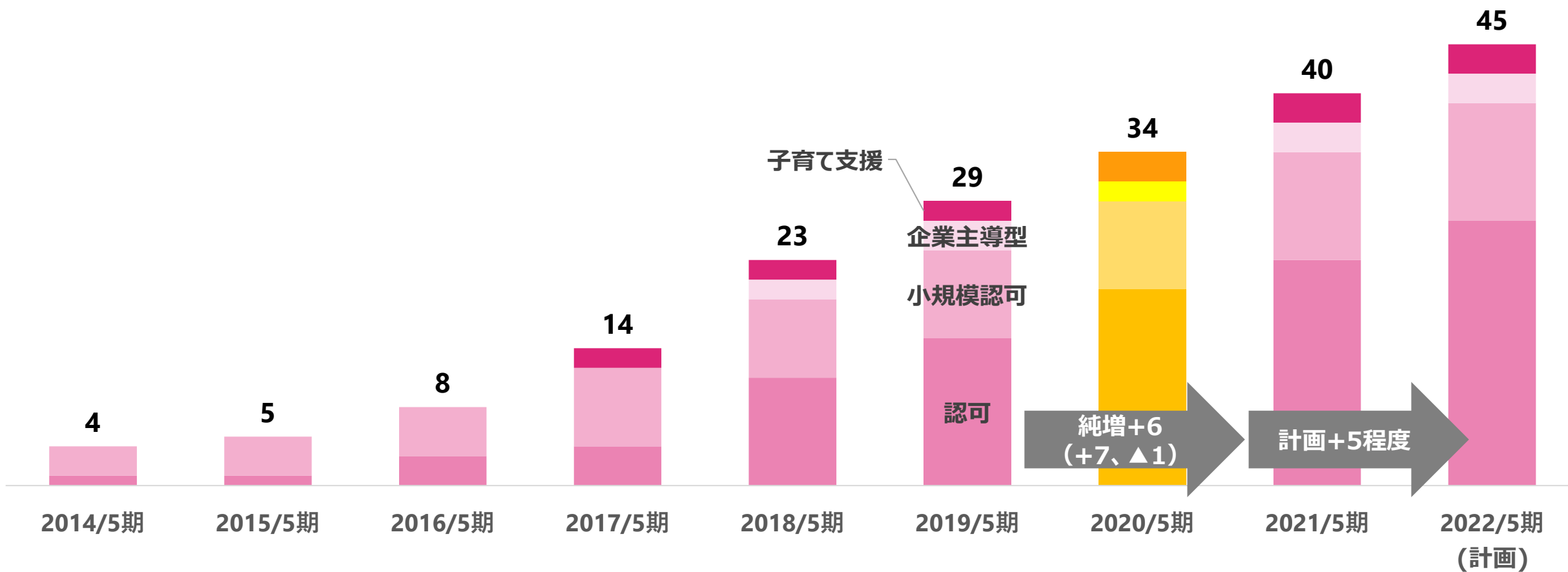
<2022年1Q 業種別売上高比率>



- ✓2022年5月期に12施設程度の開設を目指す
- ✓2021年8月末時点 合計143の放課後施設を運営（過去最大運営数）
- ✓2021年5月期 増減内訳：**増加**…新規開設13施設（公設受託12、私学1）
減少…公設▲3施設（契約満了▲1、小学校統合▲2）

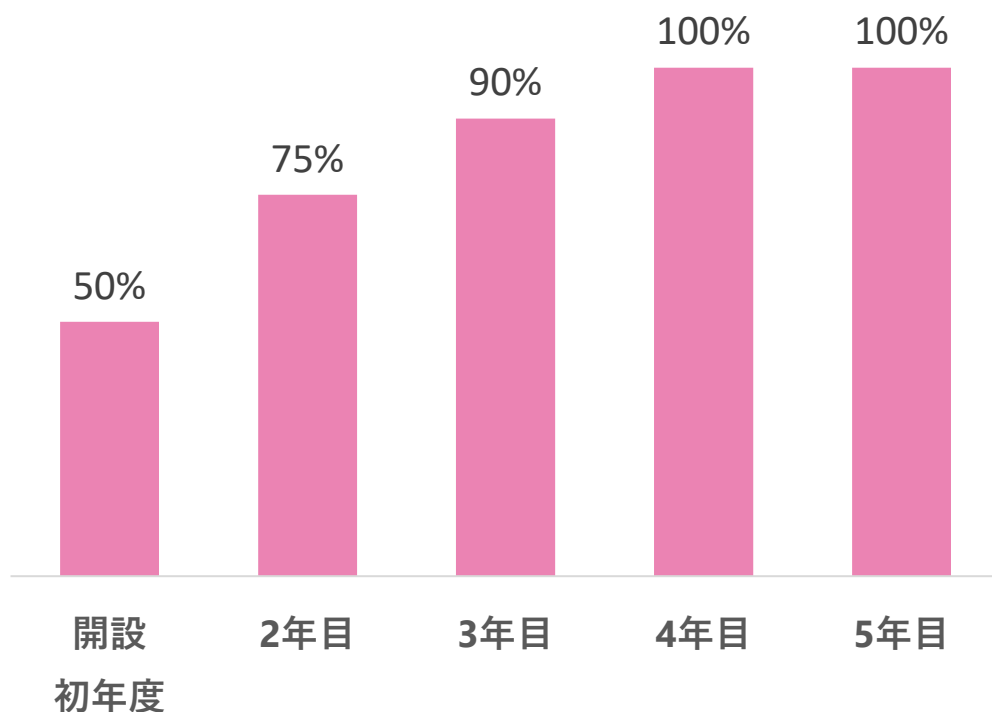


- ✓2022年5月期に5施設程度の開設を目指す
- ✓2021年8月末時点 合計40の保育施設を運営
- ✓2021年5月期 増減内訳：**増加**…新規開設7施設（認可3、小規模2、企業主導型1、子育て支援施設1）
減少…契約満了▲1施設（企業主導型）

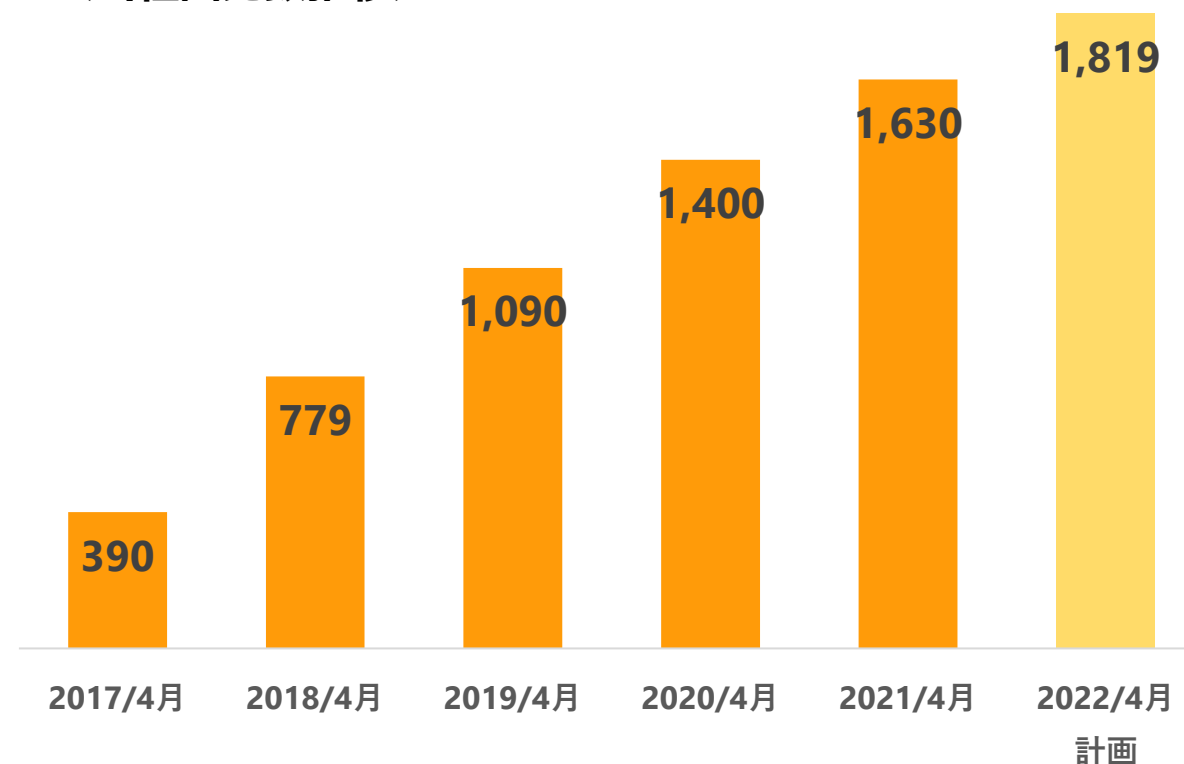


- ✓2021年4月→例年と比較し0、1歳児の4月新規入園が鈍化。コロナ禍での復職を見送り育休延長者の増加と推察
- ✓年度途中での園児数増に向け、職員の配置を増強。引続き月次で保育園児数のKPI設定とモニタリングを実施していく
- ✓平時では新規開設初年度は「0、1、2歳児」の受入れが主→年度を追うごとに充足率が上がる
- ✓売上は園児数と比例

<園児数充足モデル>

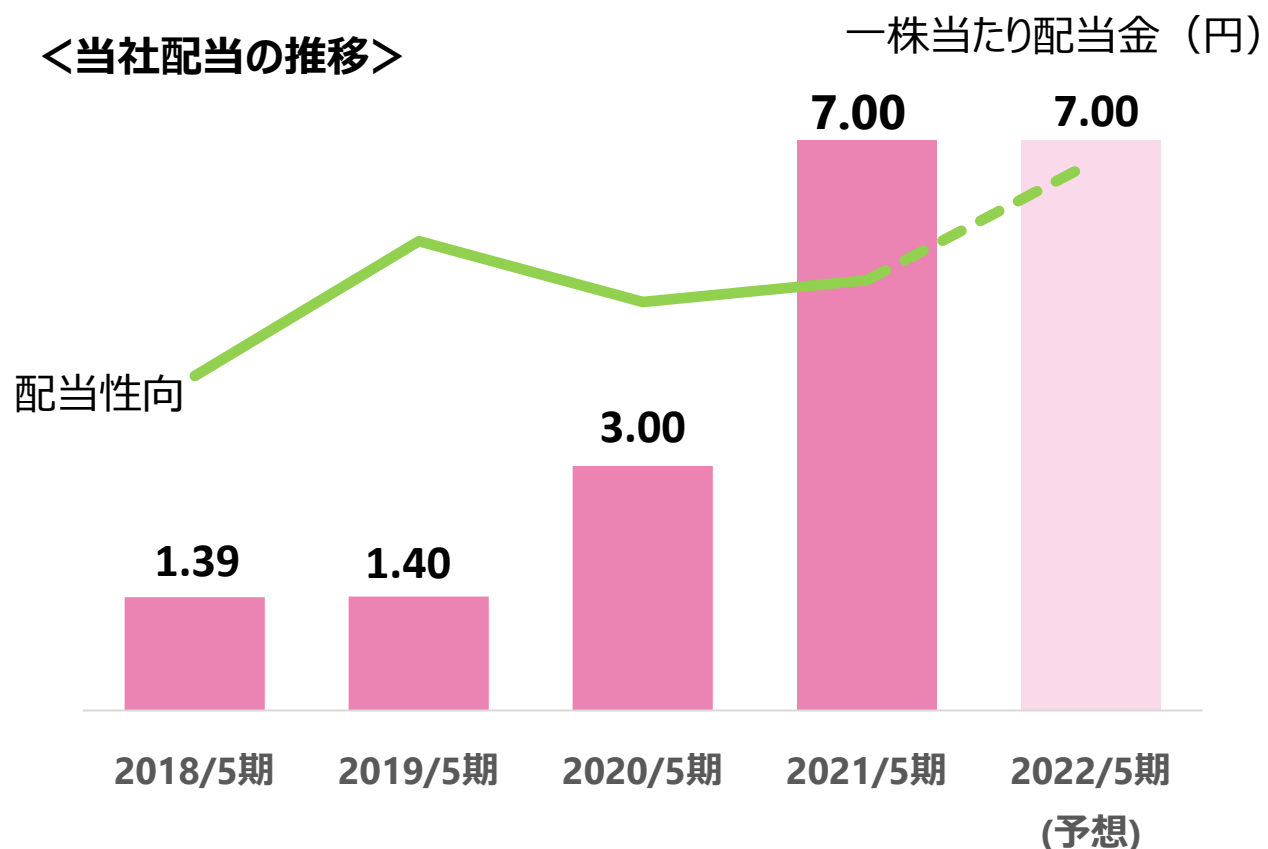


<当社園児数推移>



- ✓2022年5月期は増収減益を見込んでいるが、配当政策の基本方針に基づき、安定的な還元を継続するため、2021年5月期同様7円を予定
- ✓業容拡大に向けた投資ならびに内部留保の充実を図りながら、継続的・安定的に配当を行うことを基本方針とする
- ✓配当性向20%を当面の目標とする

<当社配当の推移>



	一株当たり配当金 (円)	配当性向
2018/5期	1.39	15.4%
2019/5期	1.40	21.6%
2020/5期	3.00	18.8%
2021/5期	7.00	19.8%
2022/5期 (予想)	7.00	25.2%

※2020/10/1付_株式分割1:2実施
 グラフ及び表の2020年5月期以前の実績は、株式分割後の値で換算

保育、放課後の受け皿確保をベースに
内閣府は2025年女性就業率82%を目標（2020年70.6%※）
当社事業領域は政策とリンクしている

政府の動き	政策 カテゴリ	女性就業	育児両立支援制度の確立	
			保育	放課後
政府の動き	現行政策 新たな目標	女性就業率80%	2020年度末 待機児童解消 ✓目標達成できず	2023年度末 受入児童数 +30万人 学童クラブ定員拡大
	2020年12月発表 「新子育て安心 プラン」	2025年 女性就業率82%	2024年度末 園児数 +14万人分 受け皿整備	—
	当社事業	就労支援事業	保育事業	放課後事業

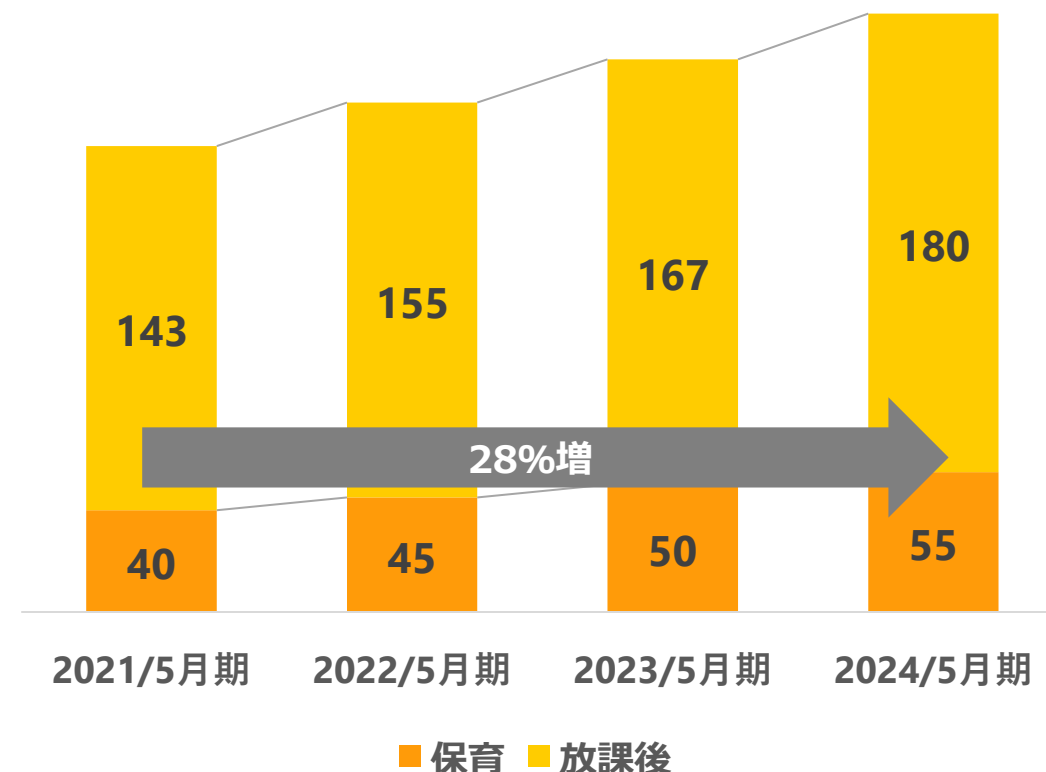
※総務省統計局 労働力調査（基本集計）2020年平均より

- ✓2024年5月期 関わる家族15万人の笑顔をつくる・・・売上高110億円（2021年5月期比+34%）
営業利益5.3億円（同+58%）をめざす
- ✓3事業強化+新規事業開発による多角経営、本部人員も強化し安定した拡大期へ

(百万円)

	実績	中期経営計画		
	2021/5月期	2022/5月期	2023/5月期	2024/5月期
売上高	8,218	9,000	10,000	11,000
営業利益	337	275	370	534
営業利益率	4.1%	3.1%	3.7%	4.9%

＜放課後・保育施設数 計画＞



	2021/5月期末	2024/5月期末
セリオファミリー	10万人	関わる家族15万人の笑顔をつくる
グループ連結	売上高82億円 営業利益3.3億円	売上高110億円 (2021年5月期比+34%) 営業利益5.3億円 (同+58%)
就労支援 稼働スタッフ	947名 うち主婦率7割	1,300名 うち主婦率8割
放課後施設数 登録児童数	143施設 19,290名	180施設 24,000名
保育施設数 利用園児数	40施設 1,670名	55施設 2,200名
セリオガーデン	新規事業開発	施工施設数 100

“家族の笑顔”があふれる豊かな未来へ

持続可能な社会の実現のため、全ステークホルダーとの共生を原点にESGに取り組んでいます。

Environment 環境	Social 社会		Governance 企業統治
<ul style="list-style-type: none"> ● ICT化によるペーパーレス化推進 <ul style="list-style-type: none"> ● 放課後施設での廃材を再利用した工作プログラム実施 ● 保育施設への節水機器の設置 <ul style="list-style-type: none"> ● 保育園・幼稚園等の園庭芝生化事業 	ワーク・ライフ・バランス	年間休日125日以上 時間有給休暇制度 積立有給休暇制度 カムバック制度 ノー残業DAY 男性育休取得促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 社外取締役3名（37.5%） ● 女性取締役1名（12.5%） ● リスクマネジメント委員会設置 ● コンプライアンス委員会設置 <ul style="list-style-type: none"> ● 社内通報制度 ● コンプライアンス研修実施 ● 女性管理職比率68.3%※ 2
	女性活躍推進	育児関連福利厚生拡充	
	障がい者雇用促進	「tiku☆tiku」の創設※ 1	
	従業員健康促進	女性検診全額負担 社内禁煙制度 コロナワクチン接種休暇	

※1_保育園向け手作りおもちゃ工房

※2_2021/5月期実績

2030年のセリオへ！

「家族の笑顔があふれる幸せ創造カンパニー」を目指し、持続可能な企業価値の向上に努めています。

SDGsへの取組みを通して、事業の持続的な発展と新たな事業展開を推進しています。

4 質の高い教育を
みんなに



放課後施設で子どもたちにSDGsへの理解を促進するプログラムを実施しています。17の目標に合わせて作成したオリジナルテキストを使用し、子どもたちがSDGsを身近に感じ、自らが考え行動できるようサポートを行っています。

5 ジェンダー平等を
実現しよう



すべての女性が出産や育児・介護を行いながら仕事を続けることができるよう、女性の就業と育児をサポートしています。また、セリオグループで働くすべての従業員がキャリアを磨き、活躍できる働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

8 働きがいも
経済成長も



すべての世代の方々にいきいきと働いていただける機会を創出するためのサポートを行い、就業場所の提供を行っています。また、保育士資格の取得をサポートする制度を導入し、保育士不足解消に貢献してまいります。

8 働きがいも
経済成長も



セリオでは保育園向けの手作りおもちゃを制作するセリオのおもちゃ箱「tiku☆tiku」を創設し、障がい者雇用の促進、保育士の業務負担軽減に取り組んでいます。

8 働きがいも
経済成長も



花王グループカスタマーマーケティング株式会社様と連携し、紙おむつの定額提供サービスを導入しています。保護者の登園時の負担軽減と保育士の管理業務の負担軽減に取り組んでいます。

12 つくる責任
つかう責任



保育園給食における食品ロスを低減させるための取り組みを行っています。栄養バランスを保ちながら、給食献立や利用する食材を工夫し、一人当たりの食料の廃棄量を削減していくことを目標にしています。

15 陸の豊かさも
守ろう



13 気候変動に
具体的な対策を



株式会社セリオガーデンを立上げ、保育園・幼稚園・学校への芝生の普及を行っています。芝生の特性である保湿性によるヒートアイランド防止対策を推進し環境問題の改善に取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、作成時点で取得している情報及び合理的であると判断する前提に基づいたものであり、その実現を確約・保証するものではありません。



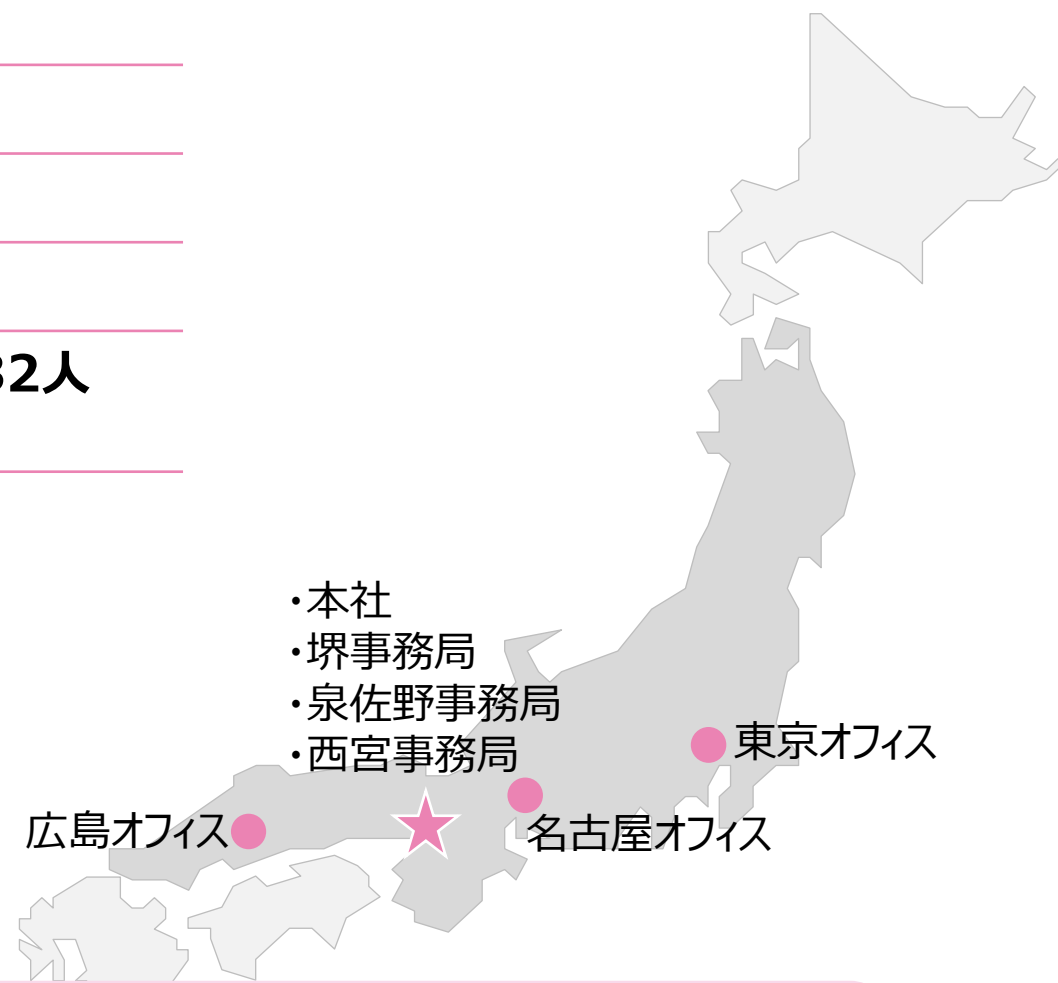
Appendix

社名	株式会社SERIOホールディングス
設立	2016年6月1日
代表者	若濱 久
資本金	693,263千円
従業員数	正社員 732人 パートタイマー等 2,132人 (2021/5月末時点 連結)
本社所在地	大阪市北区

《主要グループ会社》

社名	株式会社セリオ
設立	2005年6月24日

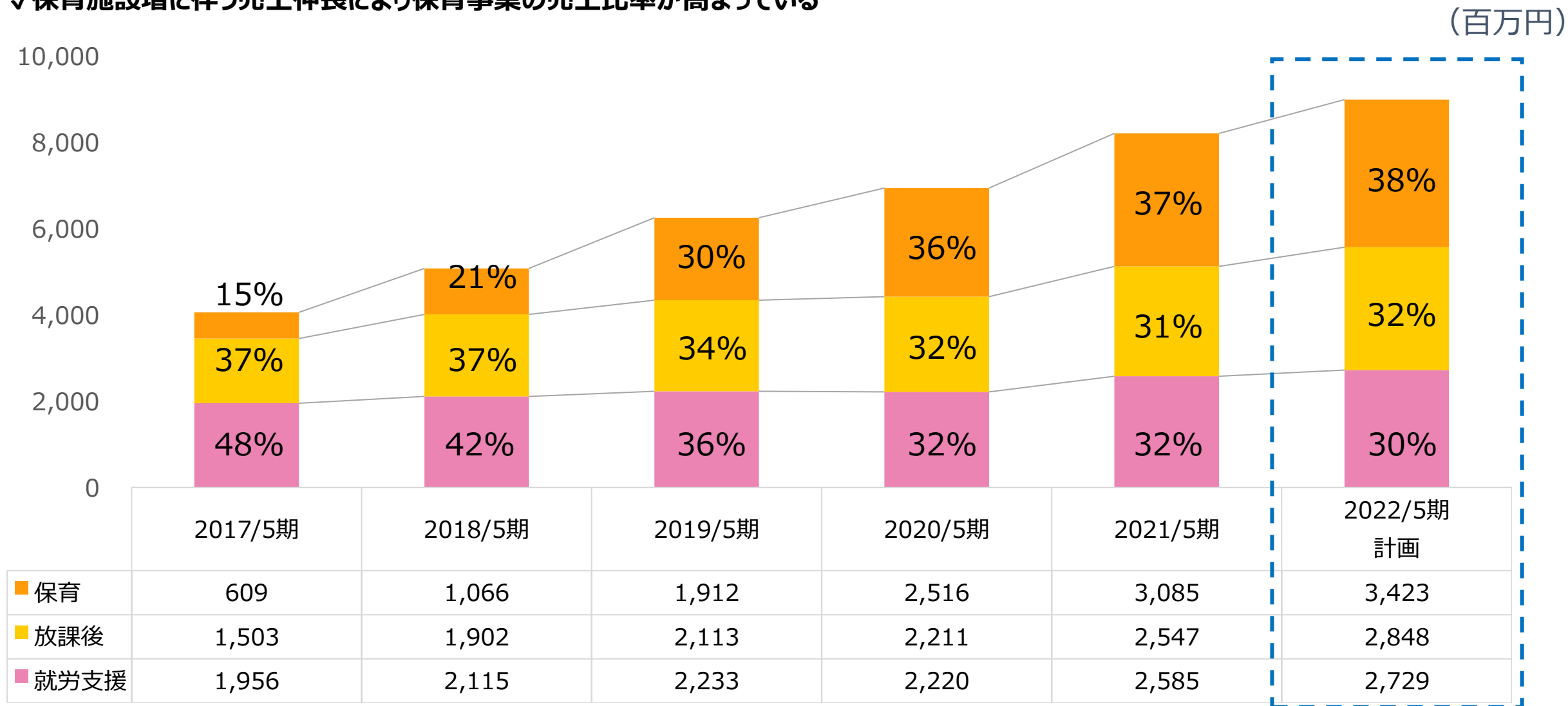
上場証券取引所 東証マザーズ (証券コード: 6567)



『SERIO』 ポルトガル語で『まじめ』という意味

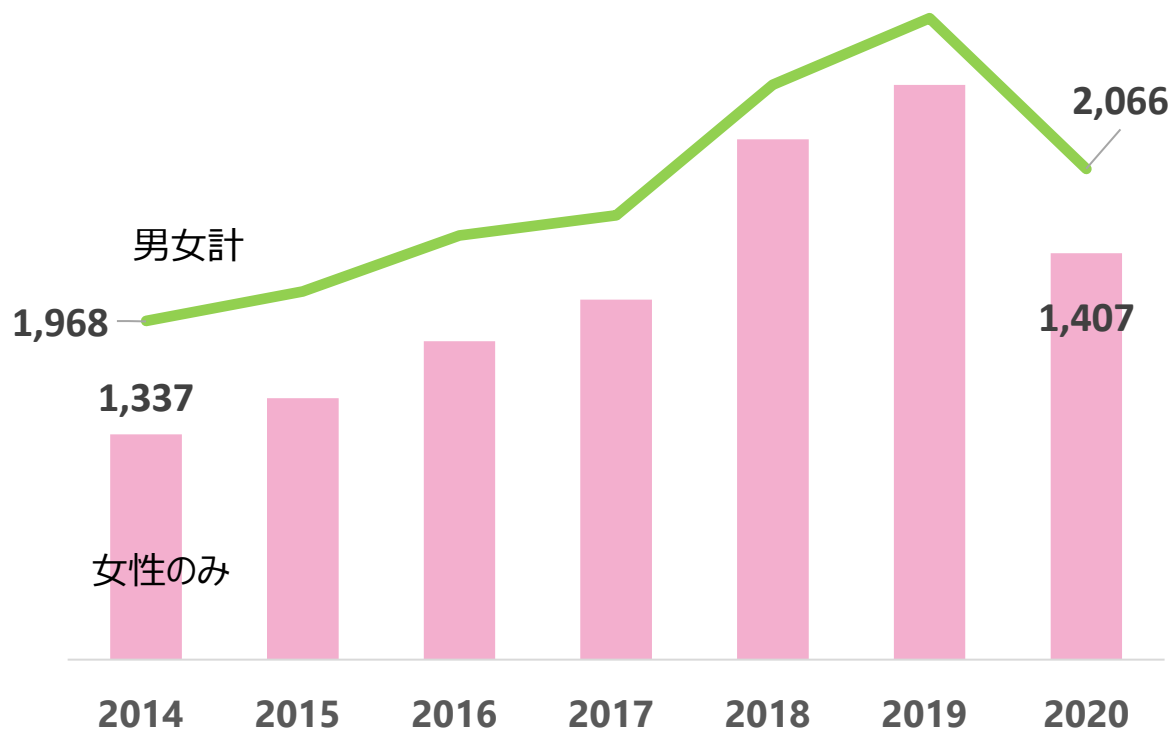
- | | | |
|-------|-----|--|
| 2005年 | 6月 | 大阪市に(株)セリオ（資本金10,000千円）を設立
子育て中の既婚女性の人材派遣を主とした就労支援事業を開始 |
| 2010年 | 3月 | 小学生を対象とした放課後事業を開始 |
| 2012年 | 4月 | 未就学児童を対象とした保育事業を開始 |
| 2013年 | 12月 | 大阪市北区、淀川区で児童いきいき放課後事業の受託運営を開始 |
| 2014年 | 4月 | 当社初の認可保育園を大阪市都島区に開設 |
| 2016年 | 6月 | (株)SERIOホールディングス（資本金10,000千円）を設立し、(株)セリオを完全子会社化 |
| 2017年 | 10月 | 就労支援事業の新ブランド“sacaso”（サカソ）の運用を開始 |
| 2018年 | 3月 | 東京証券取引所マザーズ市場に上場 |
| 2020年 | 12月 | (株)セリオの子会社である(株)クオーレを(株)セリオガーデンに社名変更 2021年1月より緑化事業開始 |
| 2021年 | 4月 | 放課後143施設 保育40施設 合計183施設運営 |

- ✓2022/5月期は全セグメントとも過去最高売上を計画
- ✓保育施設増に伴う売上伸長により保育事業の売上比率が高まっている



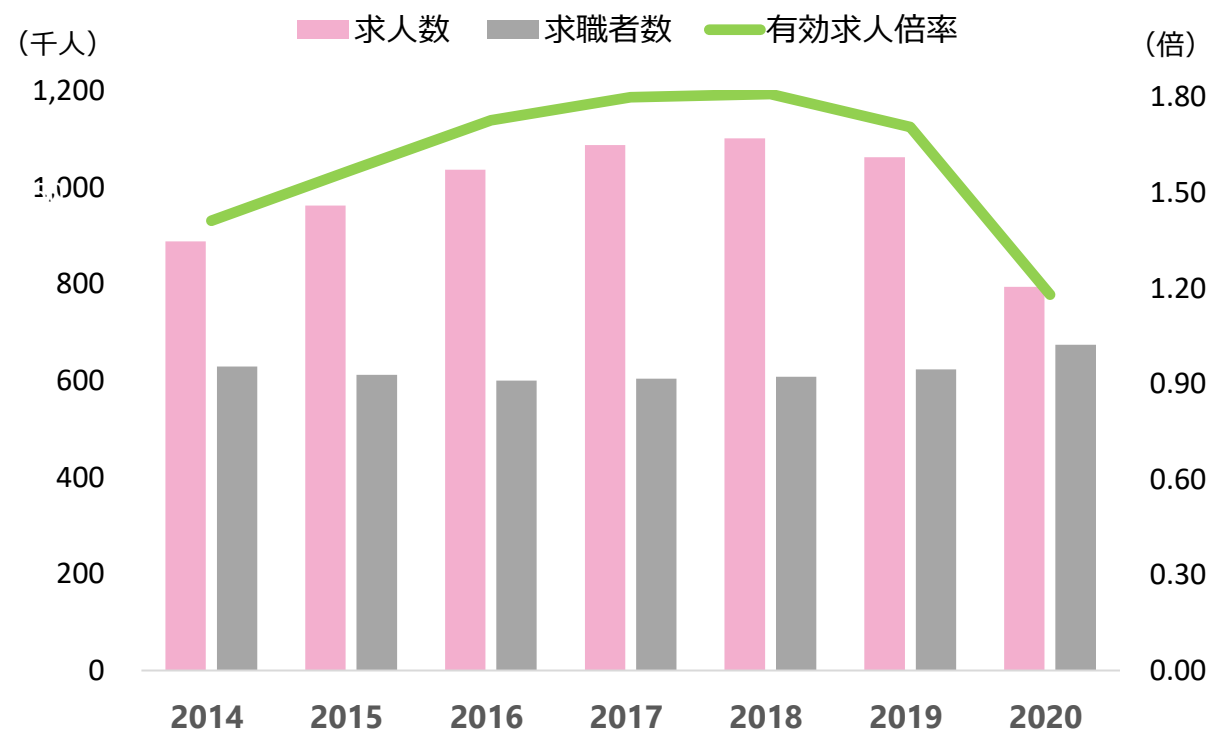
非正規従業員の就業者数は2019年まで増加、コロナ下の2020年に減少に転じた。
 サービス業を中心に求人数は減少し求職者は増加。派遣スタッフは従来と比較し採用しやすい環境となっている。

＜非正規の職員・従業員数推移（万人）＞



厚生労働省「労働力調査 2020年度」より

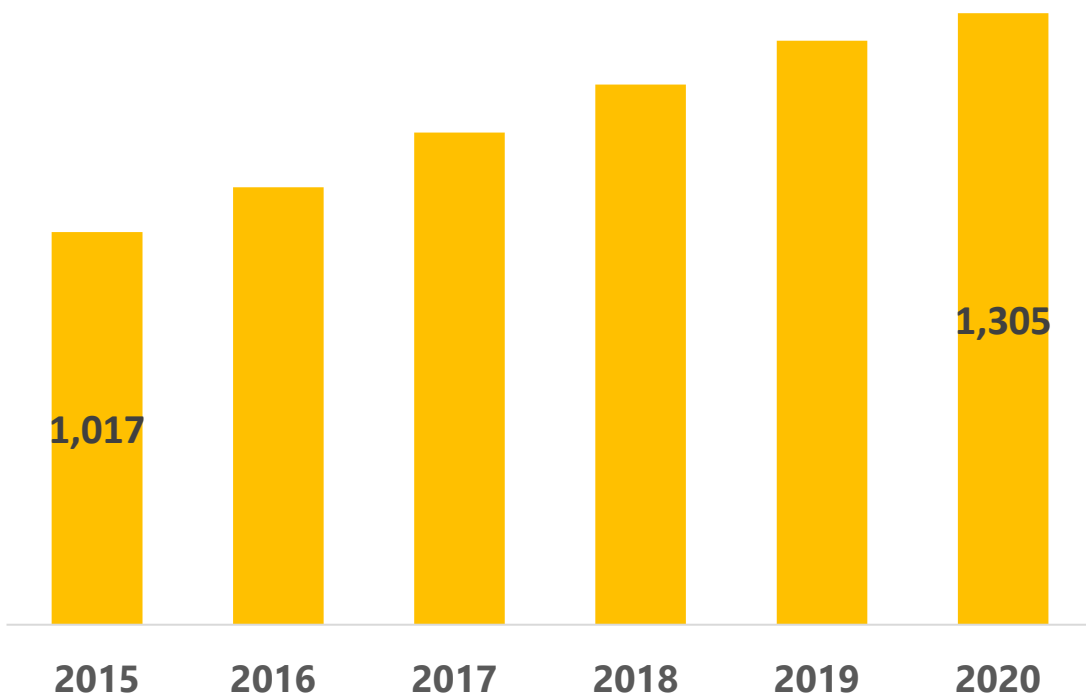
＜パートタイマーの求人・求職者数推移＞



厚生労働省「一般職業紹介状況[実数] (パート) 」より

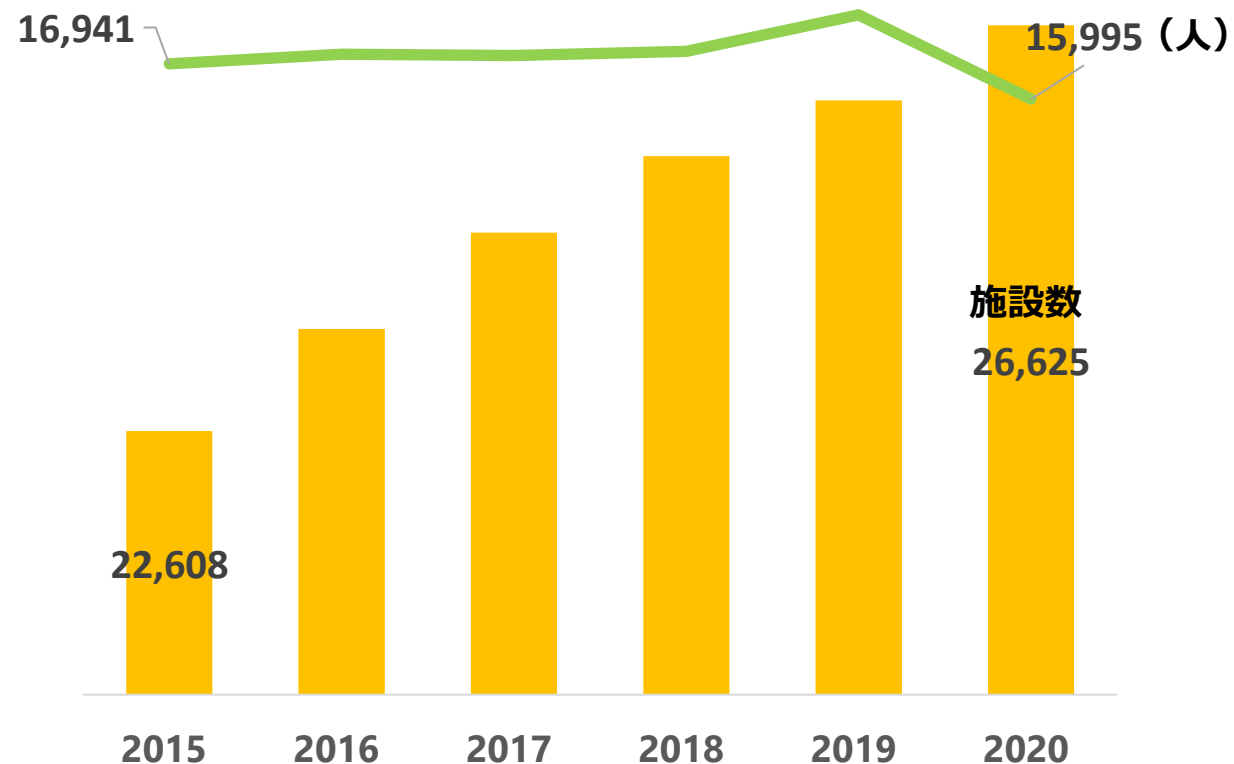
入所児童数の増加に伴い、学童施設数は増加しているものの、待機児童数は横ばいの傾向にあり、需要に追い付いていない状況。今後の市場拡大余地が大きい。

<入所児童数の推移（千人）>



全国学童保育連絡協議会「学童保育（放課後児童クラブ）の実施状況調査結果について」より

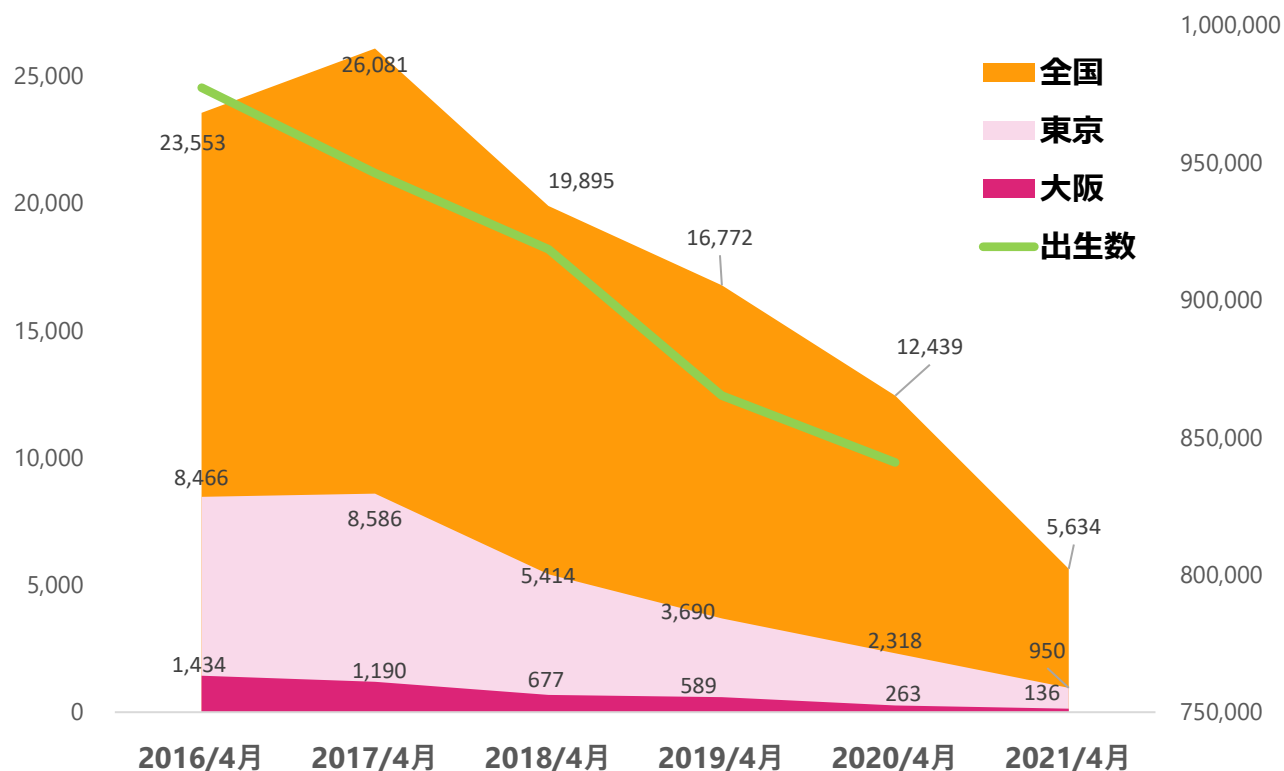
<学童施設数と待機児童数の推移>



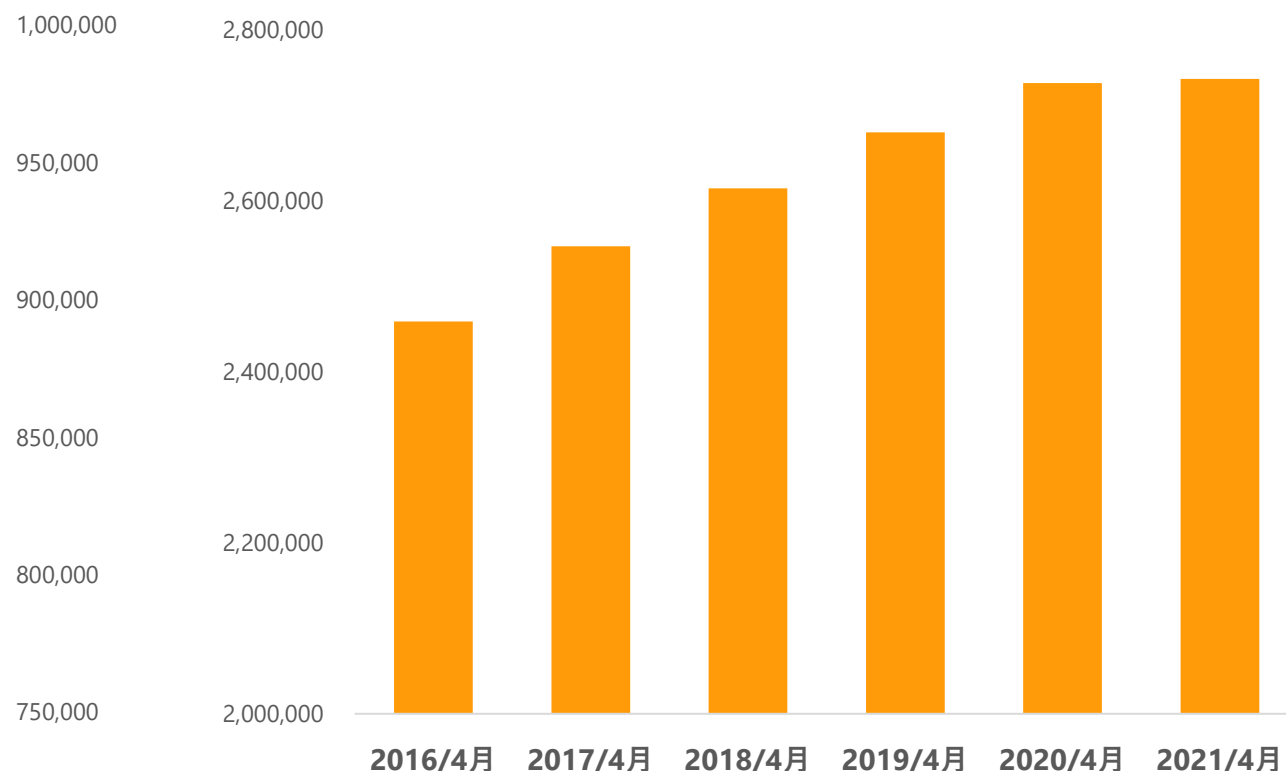
厚生労働省「2020年放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の実施状況（2020年7月1日現在）」より

今後子どもを対象とする市場は縮小すると想定される。待機児童数はコロナ禍の2021年4月は前年より半減以下となるも、女性の就業率上昇に伴い保育園の利用児童数は増加し続けている。当社は需要の高い地域に展開していく。

<待機児童数・出生数の推移（人）>



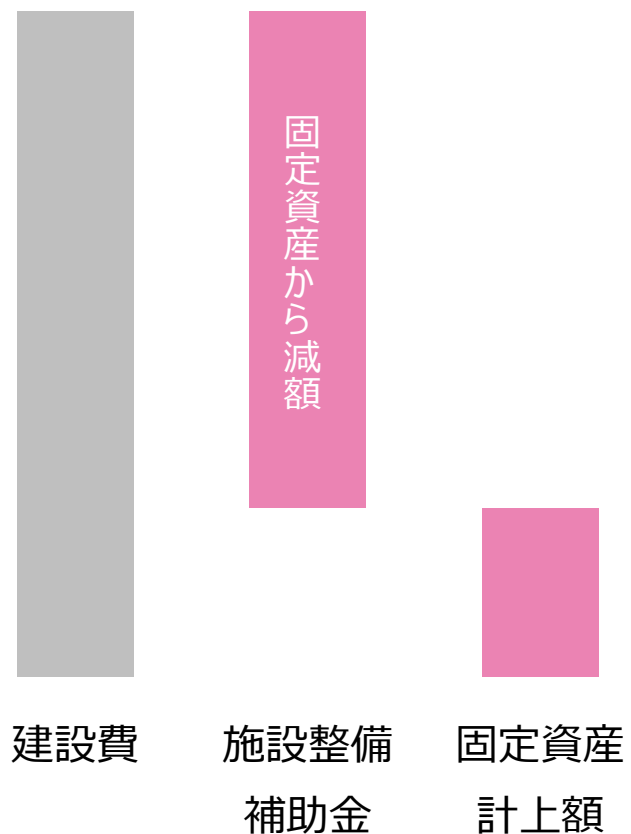
<保育所等利用児童数の推移>



※厚生労働省「令和2年（2020）人口動態統（確定数）の概況（令和3年6月）」、厚生労働省「保育所等関連状況取りまとめ（令和3年4月1日）」より

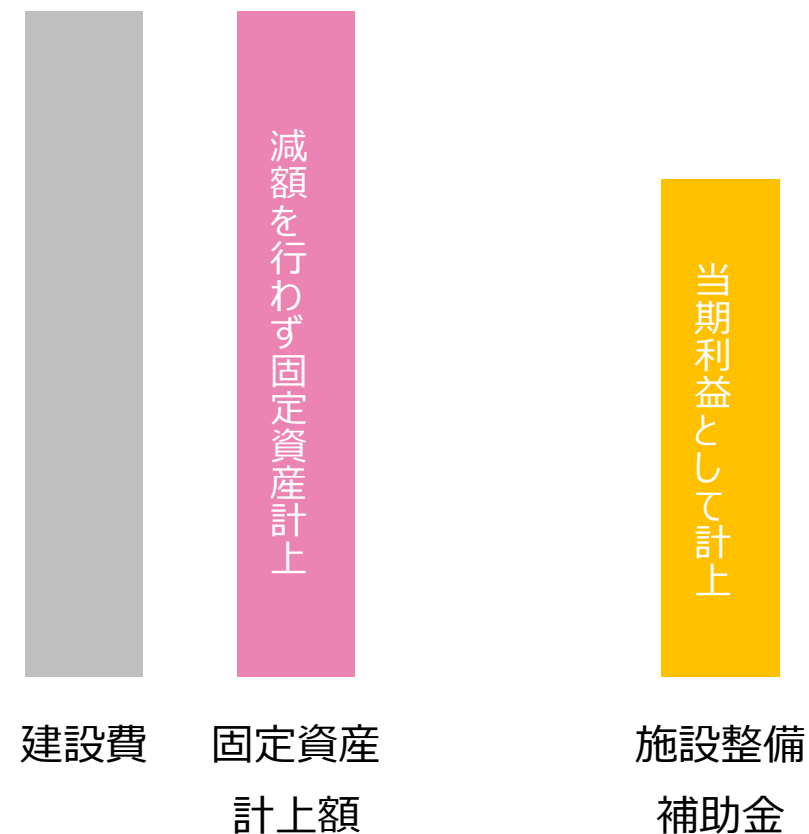
【直接減額方式 採用】※当社会計処理

施設整備に係る補助金をB/S上で反映



【直接減額方式 不採用】

施設整備に係る補助金をP/L上で反映





〒530-0003 大阪市北区堂島1-5-17堂島グランドビル8F
TEL06-6442-0500
<https://www.serio-holdings.co.jp/ir/>
E-mail : info2@serio-corp.com (経営企画室)